



今月は、美東病院の外来部門と地域包括ケア病床の増床について紹介します。

地域の皆さんの健康を支えます

当院の外来は、年間約2万5千人の患者さんが来院されています。診療科は、内科(肝臓、胆のう、消化器、糖尿病、循環器など)、外科、整形外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、婦人科があります。

地域の皆さんが安心して診察や検査・治療が受けられるよう、また在宅療養ができるように他職種と連携を取りながら看護を行っています。



内視鏡検査について

内視鏡は直接映像を見ながら、検査や治療・処置を行うことができる医療機器です。

当院では、胃や十二指腸内視鏡(食道・胃・十二指腸)と大腸内視鏡、内視鏡的胆管膵管造影(内視鏡を使って胆管や膵管を造影する検査)による精密検査や処置、治療を行っています。令和元年度には1000例以上の内視鏡検査を行いました。

内科には消化器専門医が4人おり、検査が必要な時には迅速に対応しています。患者さんの負担をできるだけ軽減し、安全で安心な検査を受けていただけるように、日々、専門的知識の習得や技術の向上に努めています。



一般病棟 地域包括ケア病床を増床しました

令和2年11月から回復期の医療機能を拡充するために、地域包括ケア病床を12床から16床に増床しました。

地域包括ケア病床は、一般病床での急性期治療後、病状が安定された患者さんが在宅や介護施設への生活復帰に向けた準備を整えるための病床です。急性期治療後すぐの退院では在宅復帰や施設へ移ることに不安がある患者さんに対して、医師や看護師、リハビリスタッフ等が治療・支援を行っています。

今回の地域包括ケア病床の増床を機に、あらためて住み慣れた地域で、最後まで安心して暮らし続けられるよう取り組みを強めていきます。